

会 議 録

会 議 名	第 9 期東久留米市市民環境会議第 4 回全体会
日 時	令和 6 年 2 月 14 日（水）午前 10 時 00 分～午後 0 時 00 分
場 所	東久留米市役所 7 階 702 会議室
出席委員	土屋座長、菅谷副座長、古谷副座長、石川委員、荒井委員、曾我部委員
欠席委員	中野委員
事 務 局	環境政策課長、計画調整係長、生活環境係長
次 第	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 事務局からの報告</p> <p>(2) 各部会からの報告</p> <p>(3) その他報告事項</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 令和 5 年度市民環境会議(みどり東京助成金)予算の執行について</p> <p>(2) 第 28 回東久留米市環境フェスティバルへの出展について</p> <p>(3) その他</p>
配布資料	<p>【資料 1－1】水とみどり部会(11 月・12 月・1 月・2 月)の会議等実施状況報告</p> <p>【資料 1－2】第 20 回「東久留米七福神めぐり」実施報告</p> <p>【資料 1－3】春の「桜めぐりウォーキング」参加者募集チラシ</p> <p>【資料 2－1】市民環境会議くらし部会の活動経緯</p> <p>【資料 2－2】地球温暖化防止活動省エネプラン</p> <p>【資料 2－3】第 9 期活動計画</p> <p>【資料 3】環境学習部会資料</p> <p>【資料 4－1】令和 5 年度みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金 (市民環境会議分)収支状況</p> <p>【資料 4－2】令和 5 年度市民環境会議(みどり東京助成金)予算執行状況 各部会・事務局の支出状況</p> <p>【資料 4－3】令和 5 年度市民環境会議(みどり東京助成金)予算執行状況 各部会・事務局の支出予定案</p> <p>第 28 回東久留米市環境フェスティバルの参加にあたって</p>
内 容	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 事務局からの報告</p> <p>・2/8 に環境審議会を開催した。4 年度版かんきょう東久留米について、ご議論いただいた。フォントや表・データの変更に工夫がみられ読みやすくなった旨、データの取扱い、取捨選択、データベース化の検討などご意見をいただいている。修正を行って、3 月には完成、公表をしていく。</p> <p>・来年度から 2 か年をかけて、次期環境基本計画の策定にむけて取り組んでいく。検討部会を立ち上げるので、市民環境会議からの参加もお願いする予定である。</p> <p>(2) 各部会からの報告</p> <p>○水とみどり部会長から資料 1－1、1－2 について報告があった。</p>



- ・11月から毎月、計4回の部会を開催。2/2にサポーター委員拡大会議を開催した。水と緑部会のサポーター委員として4名に登録いただいている。
- ・11月の部会では、今年度予算の執行について、遊歩道沿いのベンチマップを作成することを確認した。湧水地点の看板については次年度予算で対応していく。
- ・湧水期(3月)に行う湧水調査の実施予定日は、3月4日(月)～8日(金)とし、予備日を9日(土)とすることが決定した。
- ・第20回七福神めぐりについては、湧水への誘導と資料の配布を行うことを決定。水とみどり部会のサポーター委員募集チラシも配布することを決定した。
- ・春の「桜めぐりウォーキング」について、3/26(火)に実施。市役所を出発する、昨年度コースの逆回りにすることを決定した。3/1広報で参加者の募集を行うので、2月末から、チラシの配布や、SNSでのPRを行うとした。
- ・サポーター委員から意見のあった「地域でのごみ拾い活動」について、継続することは望ましいと考えるため、今後は、「水とみどり部会」の活動に組み入れていきたい、これによりサポーター委員の活動の保障にもつながると考えられる。
- ・前期(第8期)市民環境会議の市長への提言にあった市民清掃日の実施に向けては、川と遊歩道を対象に、学校なども巻き込んだ動きを考えていきたい。

<委員より>

- ・川への取り組みとしては、久留米西高が夏の川清掃に協力参加している。秋には企業が主体となる清掃活動、イベントも予定されているので、こうした動きと連動できれば、うまくいくかもしれない。

○環境学習部会長から資料3について報告があった。

- ・今期は人数が少ないので、できることから始めることを確認した。

<みのり塾について>

- ・関係者とみのり塾の再開について、2/1に初顔合わせ、連絡会を開催、各関係者からの協力、参加の確認ができた。
- ・日程については、年3回。5/26アスパラガス、10/27大根、2/16サトイモの収穫を実施。
- ・竹林公園、竹を題材としたプロジェクトとして、「竹取りものづくり」を決定。4/14(日)に竹林公園でのたけのこ掘り、7月に竹を使ったランタンづくり、秋に竹細工といった体験学習を企画している。

<その他>

- ・川の学習を行っている学校の状況をSNS等を使って、環境学習の発信として配信したい。
- ・地域における環境学習として、市民環境会議からの企画提案をしていきたいと考えており、水とみどり部会が検討している、湧水体験もあわせた取組みを行いたい。

○くらし部会長から、資料2-1、2-2、2-3について報告があった。

- ・大項目として、地球温暖化防止、省エネの視点で取り組んでいくこととした。

<環境家計簿づけ>

- ・むさしの友の会(自由学園)の方の協力を得て、電気、ガス、水道、自動車燃料の使用量



の記録を家庭や学校(自由学園)、商工会、企業等へ呼びかける。

<エコキッズプラン 2024>

- ・小中学生、計 15 名の応募があった。具体の取り組みとして、まずは、2/25 に生涯学習センターの調理室で、エコクッキングを行う。
- ・7月には、南極越冬隊経験者を招いての地球温暖化についての講演会を計画。その他、S 柳泉園や二ツ塚最終処分場、東京ガスの施設見学なども行っていきたい。

<活動の見える化>

- ・上記の活動をするだけでなく、成果の発表を行い、環境大臣賞や脱炭素チャレンジカップへの応募、表彰へとつなげる。

<委員・事務局より>

- ・ごみの最終処分場については、二ツ塚の近くに、谷戸沢という場所があり、大規模なソーラーパネルが設置してあるので、そちらも一緒に考えるとよいと思われる。
 - ・予算面など課題も多く、これから具体的に計画していきたい。
 - ・エコクッキングの応援をしてくれる方の位置づけは、サポーター委員となるのか？
 - ・サポーター委員と、事業を手伝ってくれる方との具体の違いは何か？
 - ・2/25 事業の詳細は？市民環境会議としてどのような応援ができるのか考えたいが、現状では、不明なため応援が必要なのか考えることができない。説明、報告、共有してほしい。
- (昨日のくらし部会で骨格がきまったため、資料準備等ができておらず、事務局から、口頭での報告を行った)

2. 議事

(1) 令和 5 年度市民環境会議(みどり東京助成金)予算の執行について

○事務局から資料 4 について説明があった。

- ・12 万円の助成金収入のうち、8,530 円を支出している。
- ・各部会と事務局の予算の残額は、水とみどり部会とくらし部会は満額の 35,000 円ずつ。環境学習部会は 33,423 円、事務局は 8,047 円、合計で 111,470 円残っている。
- ・この予算は来年度に繰り越しできず、残った金額については、みどり東京の事務局へ返還することとなるので、案として、水とみどり部会では、ベンチマップの印刷に 10,531 円、遊歩道沿いの花ごよみの増刷に 22,163 円、これらの印刷代の振込手数料に 275 円を充てており、残りは 2,031 円となり、その分は事務局へ振替としている。
- ・くらし部会では、2月 25 日にエコクッキングを実施するため、その食材費等で、35,000 円全額を支出することを予定している。余った額については、事務局へ振替していただきたいと考えている。
- ・環境学習部会では、今年度中の支出は無いと考えているので、33,423 円を事務局へ振替していただきたい。
- ・事務局の元々残っている額に、水とみどり部会と環境学習部会からの残額を合算すると 50,454 円となる。このうち、胴長購入で 11,176 円、レーザーポインター購入で 5,720 円、市民環境会議の腕章で 25,355 円支出し、残りを請求された際の振込手数料、切手購入で支出するものである。まずは、この支出案の了承をいただきたい。



- ・ 暮らし部会の予算については2月25日開催のエコクッキング後に余りが出れば、その用途は事務局に一任していただきたい。こちらについても、暮らし部会長をはじめ、委員の皆様にご了承いただきたい。

<委員より>

- ・ 市民参加のイベントで保険の適用はどうなるのか？
→市で加入している保険で対応することになる。
- ・ 4月以降、例えば講習会で先生を呼んで講師料などがかったときには、それは暮らし部会の予算で対応できるのか？
→お見込みの通りである。

→令和5年度分の予算の用途については、了承された。

(2) 第28回東久留米市環境フェスティバルへの出展について

○事務局から出展について説明があった。

- ・ 環境学習部会、水とみどり部会、市民環境会議全体としては参加したい。
- ・ 暮らし部会については、部会で検討する。
- ・ 全体としてのテーマは「環境のネットワークを目指して」というようなのを考えている。

(3) その他

○来年度の市民環境会議各部会の会議室の予約状況について事務局から説明があった。

- ・ お配りの資料のとおり。環境学習部会については、スケジュール、会議室の調整をその都度行う。

○環境政策課長より、令和6年度予算（案）の主な事業内容についての説明を行った。

- ・ 全体的に維持管理の予算が減っている。
- ・ 森の広場や樹林地のなら枯れ対策として、樹木を剪定、伐採する新たな事業を、東京都の補助金を受けて行う予定。
- ・ 都立六仙公園での「犬のしつけ方が教室」について、公園の指定管理者が、実施する意向がないということで、その講師謝金を予算から削除した。
- ・ 向山緑地若返り事業が令和5年度をもって終了するので、令和6年度に振り返りも含めたシンポジウムを実施する予定でその予算を計上している。
- ・ 令和6年度から次期環境基本計画の策定作業が始まるので、その委託料等を計上している。
- ・ 前沢森の広場の北側の生産緑地の買い取り申し出が出され、約8,500㎡うち、約3,500㎡を市が購入することで調整を進めている。購入は令和7年度を予定しているが、その前段で手続きにかかる費用を計上している。前沢森の広場を購入するということではない。
- ・ 買い取った後、どのような土地利用をするかの構想は誰が決めるのか？
→市が主導となるが、都市計画の決定をする際に、市民に対し事前説明会を開催し、様々ご意見をいただくことはあるが、大規模な造成は考えていない。

以上